

TOPICS . . . . . 山梨県パン協同組合・山梨県学校給食パン協同組合

山梨県パン協同組合(梅本実理事長)と山梨県学校給食パン協同組合(興石輝夫理事長)は、1月31日に山梨県産小麦によるパン普及促進検討会「やまなしこむぎプロジェクト2014」を設立した。

これまで、県産のパン用小麦の栽培については、収穫時期や病害の発生等の栽培上のリスク・適性のある品種が見当たらないなどの点から小面積での取り組みが主流で、安定した収穫が得られなかった。

しかし、平成24年にパン用小麦の品種として「ゆめかおり」が山梨県での栽培が適性であると確認されたことから、平成25年から北杜市を中心に本格的に栽培を行い、約21トンを収穫した。県内である程度の収穫が出来たことから、県内業者による製粉も行われ、県産小麦のパンの製品化を進める事になった。

山梨県産小麦によるパンの製品化に向けては、生産者・生産者団体・加工業者・県関係機関等との意見交換会を行い、山梨県産小麦によるパンを県内消費者へ向けて普及促進していくこととなった。

まずは、甲府市大津町「アイメッセ山梨」において開催された「第19回中小企業組合まつり」に出展し、試食・即売会を行った。

当日は会場内のパンの匂いに誘われて、多くの方が県産小麦パンを試食し、大好評を得、購入していった方もいた。

組合では、今後もパン食普及に力を注ぎ、新製品の開発やパン製造技術の向上等の技術講習会を積極的に行い、さまざまな活動を実施していく中で、お客様に喜ばれるパンづくり、地域に貢献した活動を今後も推進していきたいと考えている。

